

部局名	生涯学習部	所属名	市民文化課	所属長名	大平 純一郎	電 話	481-0309
-----	-------	-----	-------	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		4061		事務事業名称		文化施設運営管理事業					短縮コード		経常	4061	臨時	4062				
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費			項	05	社会教育費			目	09	文化施設運営費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市市民会館の設置及び管理に関する条例、星裏一版画展示室の設置及び管理に関する条例、八千代市文化センターの設置及び管理に関する条例、八千代市財務規則、八千代市行政財産使用料条例、八千代市道路占用料徴収条例、地方自治法第244条の2第3項												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																				
昭和４８年８月市民会館、昭和５６年６月八千代台文化センター、昭和６２年６月勝田台文化センター、昭和６３年１１月星裏一版画展示室、平成９年５月勝田台ステーションギャラリーを開設し、市民の文化振興に寄与するため、平成元年３月から平成１８年３月まで財団法人八千代市文化振興財団に運営・管理について全面委託を行った。 ・文化施設（市民会館及び星裏一版画展示室、八千代台文化センター・勝田台文化センター）の運営管理。 ・文化施設の使用料、公衆電話設置管理手数料及び出版物等売払代金の収納事務。 ・公有財産使用等許可事務及び行政財産使用料徴収事務。																				
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総 合 計 画 の 施 策 体 系	５本の柱（章）		02	人間尊重都市をめざして										
施設の経年劣化が進行しており、特に市民会館は築後３４年を経過していることから毎年多額の工事費・修繕費がかかっている。今後、管理運営に必要な改修工事費のさらなる増大が見込まれるため、建替え若しくは、耐震改修を含む、大規模改修が必要となる。また、平成１８年４月から地方自治法の改正による指定管理者制度が導入され、団塊の世代の退職により施設の利用者の増加も見込まれるため、管理運営にはより一層の市民サービスの向上と経費の節減が求められる。							大項目（節）		05	文化										
							中 項 目		01	市民文化										
							小項目（施策）		02	文化・芸術施設の整備・充実										
							細 項 目		99											
						実 施 計 画 の 計 画 事 業		2501	文化芸術の振興に関する基本方針等作成事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円								

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民会館　・星裏一版画展示室　・八千代台文化センター　・勝田台文化センター						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ・指定管理者制度を導入し、平成18年度～平成20年度の三年間、各施設の指定管理者として財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団を指定した。 ・文化施設の維持管理に係る改修等の工事を実施した。（市民会館大ホール天井ダクト内部モーターダンパー交換工事、市民会館大ホール舞台機構滑車及びワイヤーロープ交換工事、市民会館ポンプ及び給気ファンモーター等更新工事、市民会館大ホール系統空調機冷温水配管ストレーナー交換工事） ※平成19年度に計画していること： ・引き続き、指定管理者制度による運営管理。 ・改修・工事（勝田台文化センター空調設備更新工事） ・利用方法の検討						
意図 （何を狙っているのか）	各施設の運営・管理を適正に行い、市民の文化活動を支援し、市の文化振興に寄与する。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	市民の文化活動を支援し、市の文化振興に寄与する。						
区　分			単位	1 7 年 度	1 8 年 度		1 9 年 度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市人口（3月末現在）	人	184,979	185,000	186,650	187,000
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	文化施設の利用者数	人	301,571	310,000	305,549	310,000
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	文化施設の利用者の割合	%	163	167.6	163.7	165.8
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1	市民文化祭参加団体数	団体			34	
	指標 2	文化施設における文化芸術活動稼働率	%			65.8	
	指標 3						

コード		4061	事務事業名称	文化施設運営管理事業			所属名	市民文化課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		0			
		県	千円		0			
		地方債	千円		0			
		一般財源	千円	217, 201	230, 250	265, 135	239, 731	
		その他	千円	45, 721	41, 232	57, 606	45, 891	
	主な事業費の内訳			文化・スポーツ振興財団への管理委託料209, 143千円 光熱水費22, 083千円 工事請負費10, 395千円	委託料263, 076千円 光熱水費3, 324千円 工事請負費4, 830千円	委託料263, 253千円 光熱水費3, 359千円 工事請負費54, 854千円 修繕料1, 051千円 役務費63千円 備品購入費161千円	委託料263, 128千円 工事請負費18, 060千円 光熱水費3, 434千円	
	人件費(B)			千円	8, 846. 1	9, 864. 1	15, 355. 7	15, 895. 8
トータルコスト (A) + (B)			千円	271, 768. 1	281, 346. 1	338, 096. 7	301, 517. 8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由						
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	地域に根ざした文化振興を長年推進してきた財団の運営管理面により、故障の多い施設をうまく使いこなしながら、文化の重要な発信拠点としての役割も果たしており、市民文化に関する施策と強く結びついている。						
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
目的 妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	平成１８年度の文化施設利用者は３０万人を超え、市民の文化振興に寄与していると思われるが、本事業は市民による文化活動のより一層の支援のため、文化施設の運営管理に対するより高いレベルの施策が求められる。						
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
目的 妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	施設の設置目的上民営化に適さない。						
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
目的 妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	所期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。						
			☐ 見直す必要がある							
			☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	さらなる市民ニーズの把握や利用可能な助成等を臨機応変に活用していく。						
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☒ 両方可能性はある							
			☐ 可能性がない							
	有効性・ 効率性	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	・施設の修繕等をこまめに行うことで、安全な施設利用が可能となる。 ・毎回修繕・工事に多額の経費がかかっており、今後もさらなる増大が予想されるため、一時的な改修ではなく全面改修を行うことで、安定的な施設利用の実現が可能となる。 ・現在ある施設を複合施設として利用することも方法として考えられる。例えば、市民会館の３階全体を市民ギャラリーとして市民に開放する。市民会館は八千代市の文化の拠点であり、星裏一版画展示室も常設しているので収蔵美術品を展示することについて違和感はない。具体的には、湯沸し室等を収蔵庫として改修、大型の絵画が入るようエレベーターの改修が考えられる。 ・駐車場の有料化により、歳入の増加や違法駐車 の排除が期待される。					
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
				☒ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)		
				有効性・ 効率性	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	・建て替え（全面修繕）の場合の資金不足。 ・改修の場合、長期的に計画を立てて進めることが肝要であるが、毎年必要となる施設の維持管理経費は、増加する一方であり、予定外の出費も数多くある。		
	☐ ない									

コード	4061	事務事業名称	文化施設運営管理事業				所属名	市民文化課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			・施設の老朽化が進行しており、毎年多額の工事費・修繕費がかかっている。今後維持費のさらなる増加が見込まれるため、また、安全・安定的な施設利用を可能とするため、大規模改修が必要である。 ・駐車場の有料化 ・使用料の改定			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設の老朽化が著しいため、全面改修が必要。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・市の文化施設の老朽化が著しいため、文化施設を利用する市民団体から施設の改修あるいは新設について、意見や要望が数多く寄せられている。また、施設の使用料の引き下げや設備の改善についても要望が出されている。反面、利用の多い無料施設については有料にしても、より使いやすい利用方法を望む声がある。 ・議会では、指定管理者の導入による効果・課題について、質問が出ている。 ・「仮称市民の美術館」との複合施設として建て替える案も出ている。									

所属長コメント	・当該事業について、市民会館や八千代台・勝田台文化センターの経年劣化による老朽化が著しいなか、毎年施設利用者が30万人を超えている状況を鑑みると、今後文化施設の改修計画等長期的な視点に立って、市としての方向性や基本指針を示していく必要がある。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			費用対効果を検証し推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									